

# ショート・リスクリバーサル（輸出：Short Call + Short Put）

## 概要

ショート・リスクリバーサルは、コールを売却し、同時にプットも売却する戦略です。プレミアム収入を最大化する一方で、相場の上下どちらにも無制限のリスクを負う点が特徴です。輸出企業が追加収益を狙う場面で用いられることがありますが、非常に攻撃的かつリスクの高い戦略です。

## 仕組み

1. Short Call（上昇時に無制限の損失リスク）
2. Short Put（下落時にも大きな損失リスク）

ダブルでオプションを売ることによってプレミアムを受け取るが、相場変動に弱い。

## この戦略を使用する場面

- ・為替が一定のレンジ内に収まると予想し、大きな変動はないと見込むとき
- ・短期的にプレミアム収入を狙いたいとき
- ・リスクを十分に把握し、損失耐性が高いとき

## メリット

- ・プットとコール両方のプレミアムを受け取れるため収入が大きい
- ・相場が狭いレンジで推移した場合には利益が最大化する

## デメリット / 留意点

- ・上昇時にはショートコールで無制限の損失リスク
- ・下落時にはショートプットで巨額損失リスク
- ・相場のボラティリティが高い局面では危険度が非常に高い
- ・リスク管理が難しく、企業のヘッジ戦略としては適合しにくい

## 損益イメージ

- ・レンジ相場：プレミアム収入を最大化
- ・大幅上昇：ショートコールで青天井の損失
- ・大幅下落：ショートプットで巨額の損失

## まとめ

ショート・リスクリバーサルは、収入は大きいもののリスクも極めて高いため、実務的なヘッジよりは投機的取引の色合いが強い戦略です。輸出企業が採用する場合は慎重なリスク管理が必須です。